

事務の方に協力してもらい資料を提供していただきました。以下案内に関する抜粋です。

オープンキャンパスは、高校生に大学を知ってもらうため開放する重要な公式行事です。先輩たちの印象が、そのまま大学の印象となります。自分自身が高校生であった頃を思い出し、親切・丁寧に生徒に話しかけ、質問等に対応し、満足して帰ってもらえるよう心がけてください。

#### 【キャンパスツアー経路等】

○5F593教室前廊下（スタート地点）

○2名1班で、1回につき約20名の来場者をご案内していただきます。

○お客様が途中ではぐれることのないよう注意を払いながらご案内してください。

##### <コース1>

593教室→正面階段で4Fへ→事務局→C&D教室→デルタビスタ→スカイウォーク  
→学科室横階段・食堂横階段で1Fへ→プレゼンテーションペイ→アトリエ  
→アトリエ側階段で3Fへ→体育館前→モール横断→3F正面玄関前

##### <コース2>

593教室→正面階段で3Fへ→モール横断→体育館前→アトリエ側階段で1Fへ  
→1Fアトリエ→プレゼンテーションペイ→食堂横階段と学科室横階段で4Fへ  
→スカイウォーク→デルタビスタ→C&D教室→事務局→事務局横階段で3Fへ→3F正面玄関前

##### <コース3>

593教室→講堂横階段で4Fへ→スカイウォーク→デルタビスタ→アトリエ側階段で1Fへ  
→1Fアトリエ→プレゼンテーションペイ→食堂横階段で3Fへ→モール横断→体育館前  
→体育館横階段で4階へ→C&D教室→事務局→事務局横階段で3Fへ→3F正面玄関前

各班のメンバーで上記の3つのコースに分かれてご案内してください（前に出発したグループとは違うコースを選択してください）。

#### ◎説明内容（例）

##### 【5階 593教室前】

みなさんこんにちは。ガイドを務めます、〇〇学科〇年〇〇と申します。

よろしくお願いいたします。

それでは、早速出発します。途中、インタラクティブ展示が行われている場所を通過しますので。

興味のある方は、このあと、改めて立ち寄ってください。

##### 【4階 C&D 教室（講義室横の通路にて説明）】

C&Dとは「コミュニケーション・アンド・デザイン」の意味です。

こちらは、主にコミュニケーションという1・2年生の必修授業で使用する教室です。コミュニケーションの授業では、単に英単語や文法をたくさん覚える、ばかりでなく、どう伝えるのか、に重点がおかれます。英語を使って、グループでの作業やプレゼンテーションなどを行います。グループワーク等がし易いように可動式の机や椅子を配置しています。

授業で使用していない時には、学生は、学生証（IDカード）をカードリーダーに通して入室し、自由に使用することができます。（実演）

### 【3階 モール】

こちらは「モール」と言われています。「ショッピング・モール」のモールと同じ意味です。単なる廊下ではなく、今日のようなプレゼンテーションのほか、パネル展示、サークル活動の発表会など様々なイベントで使われます。学生同士がベンチに座ってお話することもできる多目的な空間です。

### 【3階 体育館（モールにて説明）】

体育館も他のスペースと同様にガラス張りです。上にある、数字のついた部屋は「部室」になります。未来大には、体育会系、文化系あわせて、大学公認のもので50近くの部活やサークルがあります。パンフレットに現在の部活一覧が書かれていますが、無い部活やサークルは自分で作ることもできます。

### 【3階 工房】

工房には、3Dプリンタ、レーザーカッター、大型プリンターのほか大型の電動工具などを多数揃えおり、授業や研究、サークルで活用されています。

### 【3階 コンピュータ教室（モールにて説明）】

MACをパソコンを設置した教室です。プログラミングや情報処理、デザインの授業などで使用しています。この教室も、学生のIDカードで自由に使用できます。

### 【3階 ミュージアム】

今日は、中に入っていただくことができませんが、普段は、未来大の研究や教育活動の成果を公開するためのスペースです。ミュージアムと呼ばれています。

さまざまな展示やワークショップなどの会場として活用されています。

正面玄関の近くに設置しているのは、来場された方々が、すぐに未来大で行われている活動が見ていただくためです。

### 【4階 デルタビスタ】

正面のガラスの向こうに、函館山と函館の街や港が一望できます。また、ここから校舎を眺めるとほぼ全体の空間が一度に見渡せます。

また、未来大の校舎は丘の上に建っているため、斜面に合わせて、1階から5階まで階段状になっています。

各階ごとに教員の研究室が一行に並んでいて、その前のフロアはオープン・スペースになっています。学生たちが自習やプロジェクト活動に使う場所で、「スタジオ」と呼んでいます。パーティションで仕切っているスペースは、卒業研究を行うための4年生の個人スペースですが、その他のスペースの大部分は、学生が自由に使えるスペースとなっています。

未来大は、全ての設備が一棟（ひとむね）の中に凝縮されています。  
（見る時間を取ってあげる）

#### 【1階 アトリエ付近 各相談コーナー】

（アトリエを指して）こちらは「アトリエ」と呼ばれ、デザイン系の授業などに使われます。未来大は情報デザインを学びますが、コンピュータのディスプレイの中のデザインだけではなく、実際に手を動かして造形物も制作します。1年生の「情報表現基礎」という授業では、コンピュータとセンサーと紙の工作をすべて合体させて作品を作成します。本日は、情報デザインコースの学生の作品展示を行っています。よろしければ後ほどお立ち寄りください。

#### 【1階 プレゼンテーション・ベイ】

この3つの円は、プレゼンテーション用のスペースで、「プレゼンテーション・ベイ」と言われ、授業や発表の場所として活用されています。

ここで発表をすると1階から5階までのすべての階から見られてしまいます。先輩や先生のお話では、未来大生は、発表会や就職活動などで「プレゼンテーションがうまい」と言われています。この環境でいつも発表を行っていますので、最初は大変でしたが、自然と訓練されているのかな、とも思います。

また、「未来祭」という学校祭では、招待したアーティストなどのステージもこちらで行います。

今年の未来祭は、10月12日・土曜日、13日・日曜日の2日間です。ぜひお越しください。

#### 【3階 正面玄関前】（締め）

それでは、これでキャンパスツアーを終了します。このあとも、お帰りまでの間にたくさんの展示を見たり、先生や未来大生とお話するなど、未来大のことをもっと知っていただきたいと思います。

本日は、ありがとうございました。最後までお楽しみください。